

「合併してよかった」と実感できる町を目指す 平成19年度町長施政方針(続)

3月号に引き続き平成19年第1回奥出雲町定例議会の町長施政方針の中から、今年度計画している保健・医療・福祉施策、学校・社会教育の推進、文化・スポーツの振興などについて、その概要を要約してお知らせします。

今年度も奥出雲町は「合併してよかった」と実感できる町づくりを町民の皆様と共に進めて参りますので、町行政に対するご理解とご協力をお願いします。

③安全で快適な町づくり

公共交通

JR木次線全線の利用者は依然減少傾向にあり、引き続き木次線強化促進協議会を中心に利用の促進に努めて参ります。

こうした中、トロッコ列車の運行につきましては、年々利用客が増え、特に県外からの利用者が増加しております。

今年度も四月七日より運行しており、今後も交流人口の拡大に大きな役割を果たすものと期待しております。

路線バス運行

横田地域で運行していた日の丸バスの路線を引継ぎ、奥出雲交通が町内全域の運行を実施して二年目を迎えたところです。

乗客数は減少傾向で厳しい運営状況ではありますが、今年度において八台の小型バス車輛を導入し、運行業務等の見直しを図り今後とも安全運行の励行を徹底し住民生活の利便確保のため、一層のサービス向上と経営の改善に努めて参ります。

地域のまちづくり



▶ 大人気のトロッコ列車（四月七日から運行しています）

集落機能などの維持・向上が重要な視される中、地域のコミュニティ振興として国庫補助金と有利な起債により、馬木、八川、鳥上地区の公民館の改築や自治会集会所整備事業を実施して参りました。

今年度も十四自治会に引き続き四自治会の拠点となる集会所について、過疎債による補助制度や又自主的な活動に対して「ふるさとづくり助成事業」を継続実施いたします。



▶ 植栽されたもみじ（上・玉峰山荘 下・ループ橋）

また、昨年町の木に指定されたもみじの植栽については



過疎債を活用し、春の若葉や美しい紅葉によって四季をおして多くの観光客が訪れる「もみじの里づくり」事業を引き続き実施し、将来に向け夢のある町づくりを進めて参ります。

④活力に満ちた健康と福祉の町づくり

平成十七年度に策定いたしました奥出雲町健康づくり計画『奥出雲町げんきプラン21』に基づき、全ての町民が生涯にわたって健康で明るく生きがいを持って生活できる社会の実現を目指して、関係機関と連携を図りながら積極的に町民の健康づくりを進めたいと考えております。

また、地域におきましては各自自治会の健康づくり推進員、食生活改善推進員の皆さんを中心として学習会等を企画し、きめこまかな健康づくり活動の推進を図って参りたいと考えております。

一方、県の福祉事務所廃止の方針により、平成十九年四月一日より奥出雲町福祉事務所を設置することとし、町民により身近な福祉行政が移譲されることになりました。

一昨年よりスタートいたしました